

防犯灯（ホワイト LED）／赤外線 運用設定ガイド

はじめに（ご確認事項）

- ・ 本設定には、防犯灯（ホワイト LED）対応カメラが必要です。設定の前に、対応機種であるかをご確認ください。
- ・ 画面の構成・項目名・表示位置は、機種およびファームウェアのバージョンによって異なる場合があります。
- ・ 本ガイドでは、運用方法を「赤外線のみ」「防犯灯のみ」「赤外線＋防犯灯」の3パターンに分けて説明します。目的に合わせて該当の項目をご参照ください。

運用パターン早見表

運用パターン	夜間の見え方・動作	主な用途
赤外線のみ	赤外線で撮影（映像は白黒）。防犯灯は点灯しない。	目立たずに監視したい場合
防犯灯のみ	指定した時間帯にホワイト LED を常時点灯（映像はカラー）。周囲の明るさに影響されない。	常時カラーで記録・照明も兼ねたい場合
赤外線＋防犯灯	通常は赤外線で監視し、モーション／AI 検知時にホワイト LED を点灯。	検知時のみ威嚇・記録したい場合

共通操作：イメージコントロールを開く

いずれの運用パターンも、まず下記の操作でイメージコントロール画面を開きます。

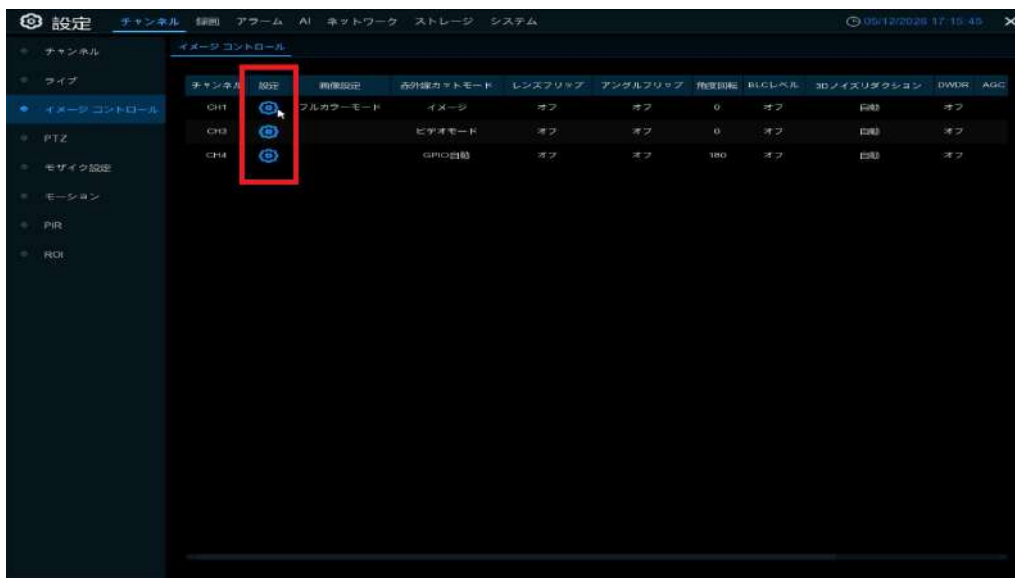
1. ライブ画面で右クリックし、メニューを表示します。



2. メニューから [イメージコントロール] を左クリックします。



3. 設定を変更したい CH の設定アイコンを左クリックします。

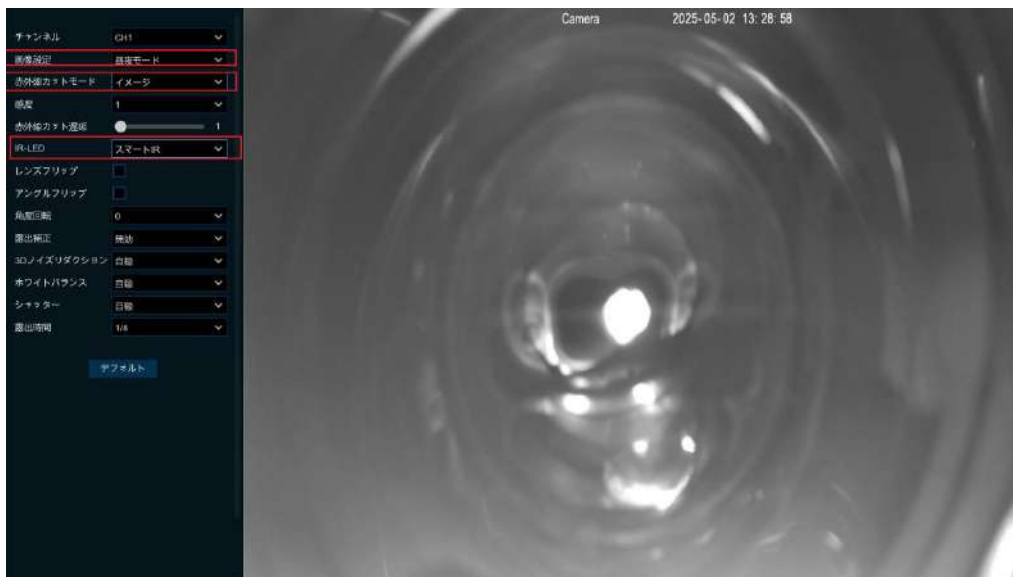


1. 赤外線のみでの運用

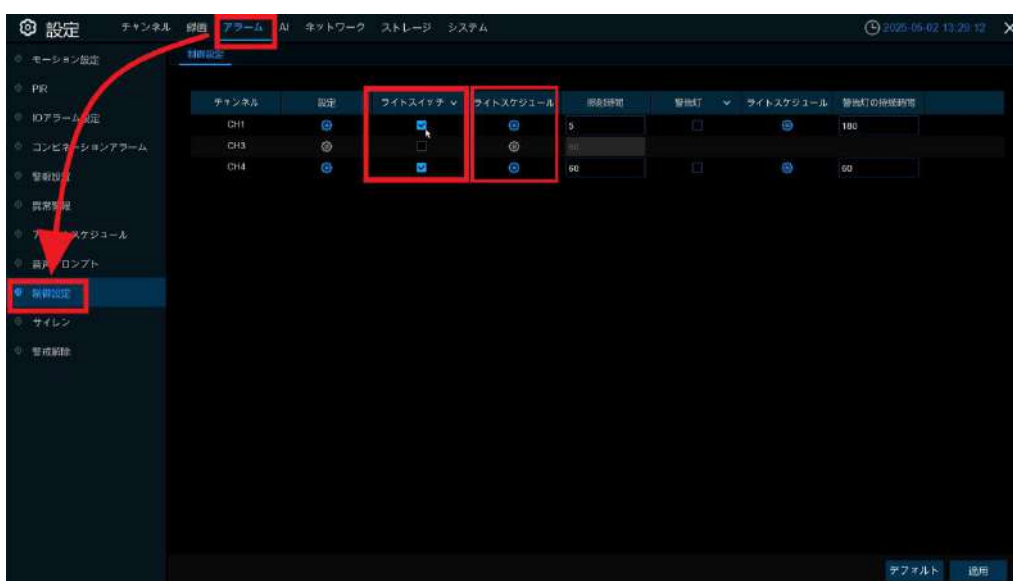
夜間はホワイト LED（防犯灯）を使用せず、赤外線のみで暗所を撮影します。映像は白黒になります。

1. イメージコントロール画面で、以下のとおり設定します。

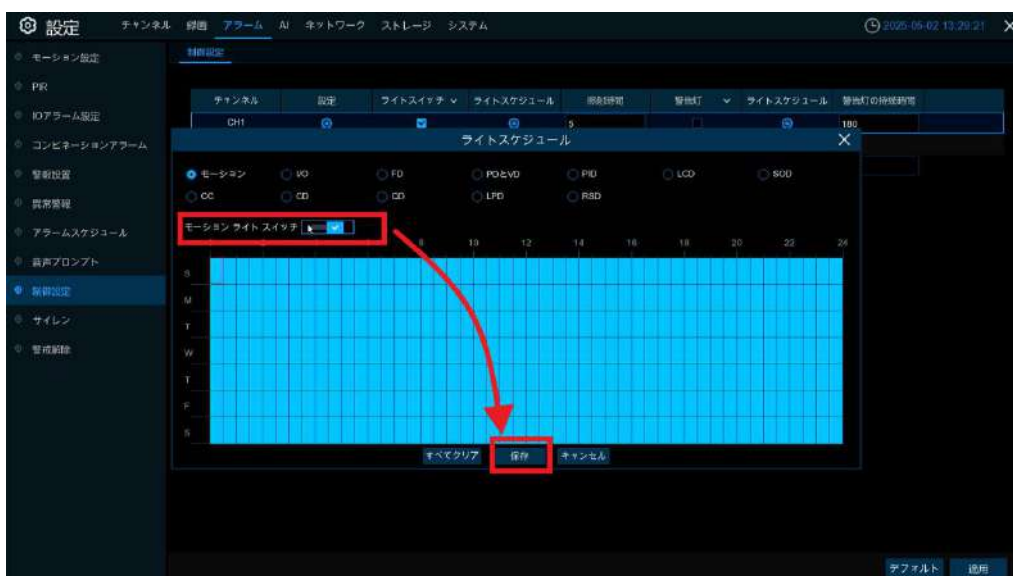
- ・ 画像設定（昼夜モード）：赤外線モード
- ・ 赤外線カットモード：イメージ（明るさに応じてカラー／白黒を自動で切り替えます）
- ・ IR-LED：スマート IR（赤外線の出力を自動調整します）



2. 防犯灯を点灯させないため、[アラーム] → [制御設定] を開き、該当 CH のライトスイッチのチェックを外し「無効」にして、画面右下の [適用] を左クリックします。



3. [ライトスケジュール] を開き、モーションライトスイッチを「オフ」にして [保存] を左クリックします。これで防犯灯は点灯しなくなります。



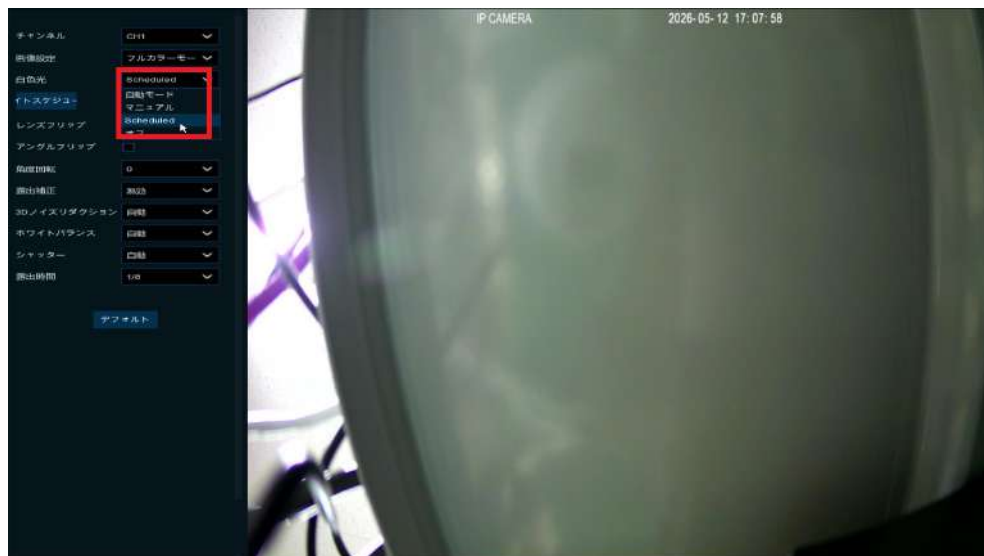
2. 防犯灯のみでの運用

指定した時間帯にホワイト LED（防犯灯）を常時点灯させ、カラー映像で記録します。周囲の明るさの影響を受けずに点灯できる運用です。

1. イメージコントロール画面で、画像設定を「フルカラーモード」に変更します。



2. 白色光を「Schedule (スケジュール)」に変更します。



3. 画面右の [ライトスケジュール] を左クリックし、ホワイト LED を点灯させる時間帯を指定します。青い部分が点灯エリア、黒い部分が非点灯エリアです。



4. 設定後、[保存] を左クリックして完了です。

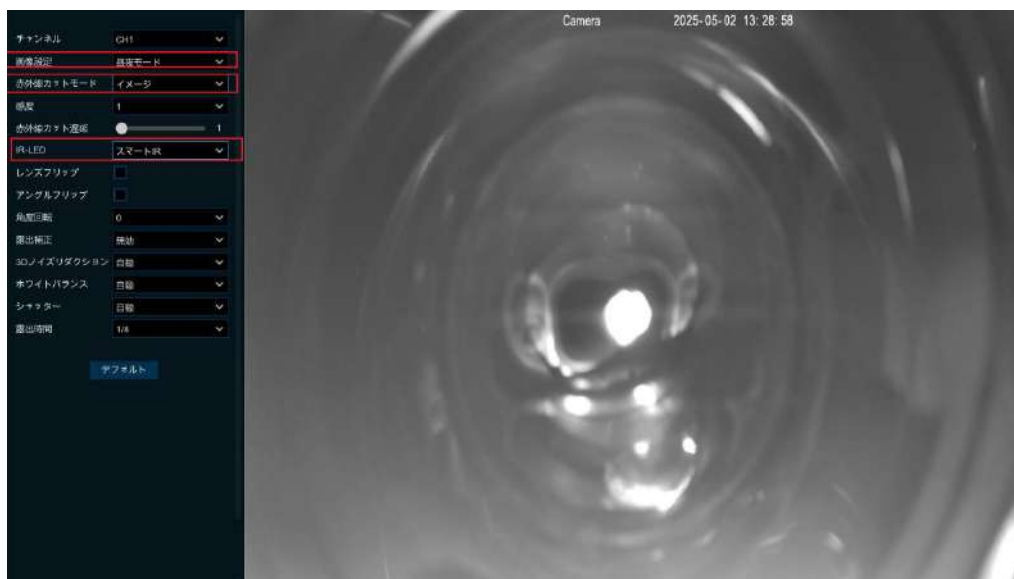
この設定では、周囲の明るさに影響されることなく、指定時間帯に防犯灯を点灯させることができます。

3. 赤外線 + 防犯灯での運用

通常は赤外線で監視し、モーション/AI 検知時にホワイト LED（防犯灯）を点灯させる運用です。検知したときのみカラー撮影と威嚇を行います。

1. イメージコントロール画面で、赤外線系を以下のとおり設定します。

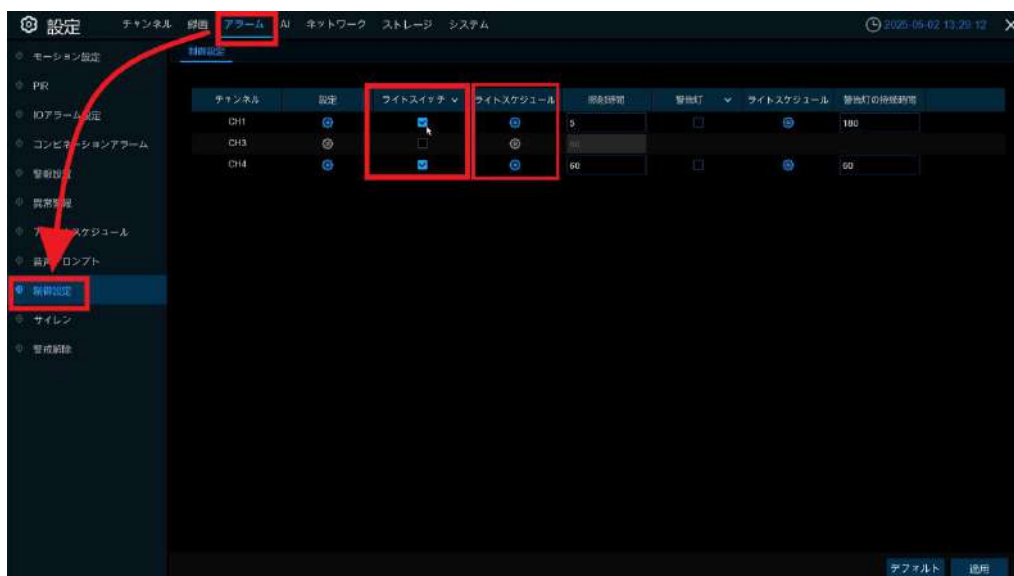
- ・ 画像設定（昼夜モード）：赤外線モード
- ・ 赤外線カットモード：イメージ
- ・ 赤外線カット感度
- ・ IR-LED：スマート IR



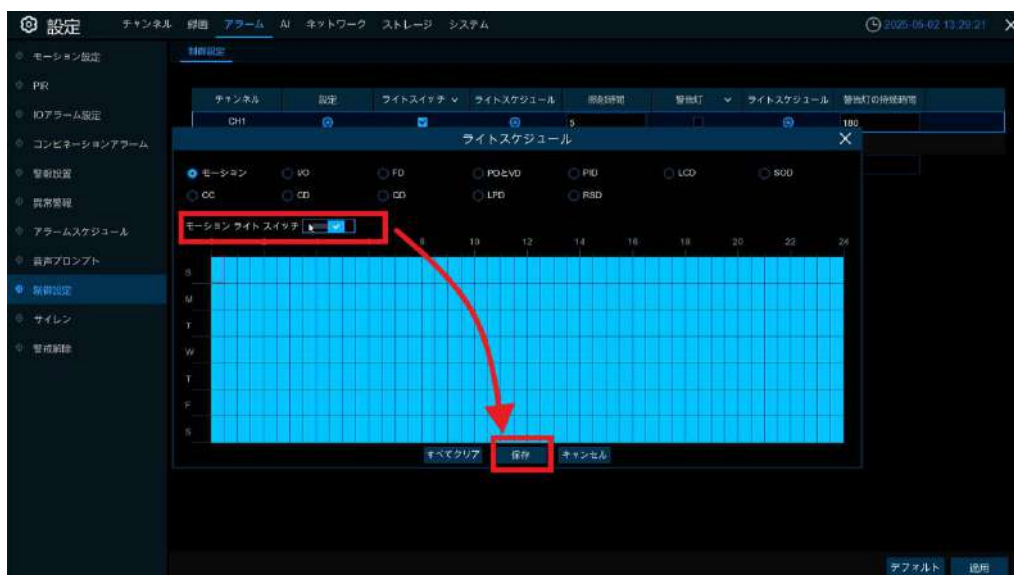
2. 防犯灯を点灯させる条件として、モーション検知または AI 検知のいずれかを設定します。

※ モーション検知/AI 検知の設定方法は、別資料をご参照ください。

3. [アラーム] → [制御設定] を開き、該当 CH のライトスイッチを「有効」にして、画面右下の [適用] を左クリックします。



4. [ライトスケジュール]を開き、有効にする検知条件と、防犯灯を点灯させる時間帯を指定して[保存]を左クリックします。青い部分が点灯対象の時間帯です。



5. 制御設定内で、防犯灯の点灯パターンと持続時間を変更できます。軽い警告の場合は「点灯」、ストロボの場合は「点滅」で設定します。

